

Japan Digest No.4

2007年 3月吉日

INPEA 日本国会員各位殿

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
今年も、世界規模で高齢者虐待問題を考える、国連助言機関 INPEA（高齢者虐待国際ネットワーク）の活動の輪を徐々に拡大して参りたいと存じます。引き続きまして、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は、大変遅くなりましたが、*Japan Digest* の第 4 号を送付させていただきました。昨年 11 月にテキサス州ダラス市で行われました、第 59 回米国老年学会社会での INPEA および JAPEA 活動の一端をお伝えさせていただきます。

1.【昨年 11 月に米国テキサス州ダラス市で開催された GSA（米国老年学会）における INPEA の活動】

毎年 1 回、11 月に行われる米国老年学会（GSA）の年次研究大会が、昨年は、テキサス州ダラス市で、2006 年 11 月 16 日（木曜）～11 月 20 日（月）まで 5 日間開催されました。

その GSA で、毎年行われております高齢者虐待に関する Interest group の会合（このグループの委員長は 10 年以上多々良先生が務めておられます）である“Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation”には、世界から INPEA の幹事やメンバー達が集まるのですが、塚田は生憎、昨年この会合には、本務校入試と重なり、参加できませんでした。しかし、INPEA の会員であり JAPEA（日本高齢者虐待防止学会の評議員）でもある山田裕子先生が参加され、会場の様子を写真に撮っていただきましたので、その会合の雰囲気をご紹介します。多々良先生によりますと、参加者数は最大時で約 20 名だったということでした。



INPEA 世界会長
リア・ダイチマン

< GSA の Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation の会場にて-No.1 >



< 同会場にて-No.2 >



INPEA 世界副会長
監査：スーザン・ソマーズ

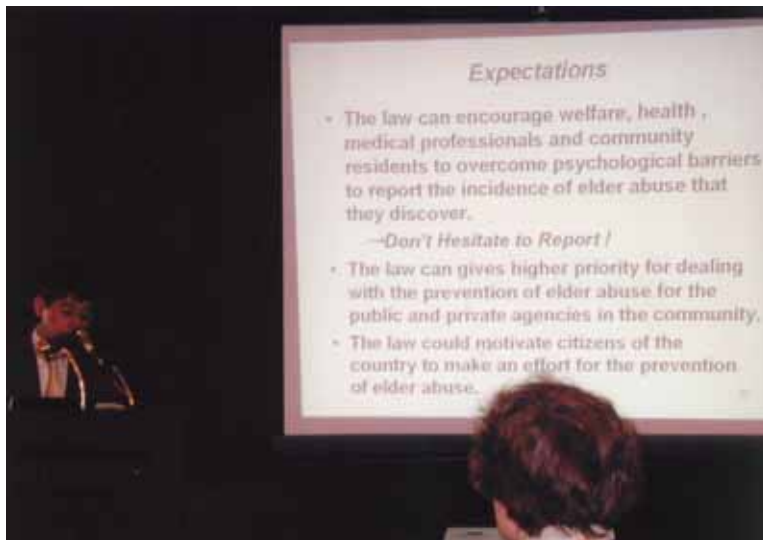


< 同会場にて-No. 3 >

2.【GSA（米国老年学会）における高齢者虐待に関する日本からの発表】

GSA では、淑徳大学多々良紀夫先生（INPEA アジア地域担当理事で JAPEA の研究推進委員長）が、“Understanding the Provisions and Their Implications of the New Elder Abuse Prevention and Caregiver Support Law of Japan”という題目で、GSA の最終日の午前 8 時半より 1 時間半ほど、日本の新しい高齢者虐待の法律および高齢者虐待防止に関する活動を紹介するべく、シンポジウムを企画されました。そのシンポジウムには、厚生労働省からと日本高齢者虐待防止学会の会長である高崎絹子先生が参加されることになっておりましたが、厚生労働省からは、異動になった榎本氏の代わりに、佐々木氏が、高齢者虐待の防止およびその養護者の支援に関する法律について発表されました。また、日本高齢者虐待防止学会会長である高崎絹子先生が、急遽公用で GSA に参加できなくなったため、日本大学の山田裕子先生（日本高齢者虐待防止学会評議員）がシンポジウムで発表されました。また、このシンポジウムの discussants としては、米国テキサス州の元 APS でディレクターである Ms. Betty Michell が担当されました。

次頁に、そのシンポジウムの会場の様子を少し写真で紹介いたします。

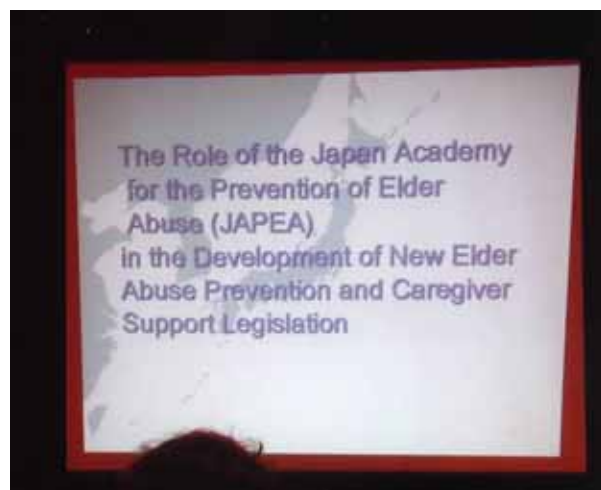


厚生労働省から
佐々木氏

< 多々良先生企画シンポジウム：厚生労働省の佐々木氏の発表風景 >



JAPEA 評議員
INPEA 会員 山田氏



< 多々良先生企画シンポジウム：日本大学の山田裕子氏発表風景 >



< 同会場にて：会終了後に参加者有志で Discussants Ms. Mitchell (中央) を囲んで >

3 .【2007 年 11 月にサンフランシスコで開催予定の GSA】

2007 年は、西海岸サンフランシスコのヒルトン・サンフランシスコ・ホテルで、11 月 16 日から 20 日までの 5 日間、大きな節目となる第 60 回 GSA (米国老年学会) が開催される予定です。詳細は、GSA の HP の <http://www.geron.org/> でご覧下さい。発表要旨の申し込み〆切は、3 月 29 日 (木) です。一人でも多くの INPEA の方々と現地サンフランシスコでお会いできますよう願っております。

4 .【2007 年の 6 月 15 日 (金) は第 2 回目の World Elder Abuse Awareness Day (世界高齢者虐待を考える日)】

今年も来る 6 月 15 日 (金) 「世界高齢者虐待を考える日」のイベント開催を企画しています。日本は、アメリカと韓国に続く、高齢者虐待に関する法律を持つ世界でたった 3 力国しかない国の中の一つです。2007 年 6 月 15 日 (金) のイベントを昨年より、一層実り多き会としたいと思っております。まずは、皆様の 6 月 15 日 (金) のスケジュールを WEAAD の日として、今からとっておいていただけますと幸甚です。一人でも多くの INPEA の会員の皆様が、お友達を誘ってご参加いただけますことを願っております。

未筆になりましたが、INPEA (国際高齢者虐待防止ネットワーク) の入会は無料です。
(URL は <http://www.inpea.net/>)

皆様の同僚・ご友人をどうぞご紹介くださいませ！！

それでは、ご家族の皆様そろわれまして今年もご健勝で、且つ、皆様の御幸せと益々のご発展を祈念いたしております。

INPEA 日本国事務局代表 塚田 典子
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科
〒102-8275 東京都千代田区九段南 4 丁目 8-24
Tel: 03 - 5275 - 9430
Fax: 03 - 5275 - 8386
E-mail: ntsukada@gsb.nihon-u.ac.jp

追伸 (1): 昨年の 6 月 15 日に開催されました、日本の「世界で高齢者虐待を考える日」のキック・オフ・イベントで配布いたしました、INPEA の歴史を INPEA の会員入会書と共に、同封いたしましたので、ご友人・ご同僚に INPEA をご紹介いただけます際にぜひご利用くださいませ。

追伸 (2): 前回 (昨年) 9 月に、日本 INPEA が池袋淑徳大学サテライトキャンパスで開催いたしました、「世界で高齢者虐待を考える日」のイベントが、INPEA のニューステアで紹介されたもの (英文記事) を皆様宛に郵送いたしました。その後、ぜひ、日本語で読みたいとのご要望がございましたので、大変遅くなりましたが、邦文概略を同封させていただきます。ご査収のほどよろしくお願い申し上げます。